

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 海南省社会福祉協議会

平成 2 7 年度

社会福祉法人 海南市社会福祉協議会事業報告

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

近年の少子高齢化や核家族化の進行、また地域や近隣のつながりの希薄化などにより、福祉課題が多種多様化してきています。また、地域社会の環境が変化し、生活していくうえでの様々な課題について、行政と地域全体が互いに協力し合い、考え、取り組んでいく必要があります。

このような中、海南市社会福祉協議会は、こうした福祉課題の把握に努めるとともに、地域の支え合い、福祉コミュニティの形成のため、ふれあい・いきいきサロン運営支援やボランティア活動支援など住民の皆様や関係団体が主体的に参加、活動する地域福祉活動の推進に努めました。

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、新たに家計相談支援事業を海南市から受託し実施しました。

また、近い将来発生が予測される自然災害に備え、災害ボランティアの基盤強化を図るため、災害ボランティアセンター設置運営訓練や災害ボランティアの登録にも取り組みました。

加えて、介護保険や障害福祉サービスの指定事業者として、利用者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、きめ細やかなサービスの提供に努めるとともに、福祉サービス利用援助事業や資金貸付事業につきましても、利用者個々の実情に即した相談支援に努めました。

海南市社会福祉協議会は、住民の皆様の期待に応えられるよう、組織の活性化、職員の資質向上、効果的・効率的な事業運営に努め、次のとおり事業を実施しました。

I. 法人運営事業

1. 法人運営事業

(1) 法人運営事業

①会議の開催

ア 理事会の開催

平成27年	5月14日	評議員の選任について（同意）
平成27年	5月26日	平成26年度事業報告について（同意） 平成26年度一般会計決算について（同意） 平成27年度第1次補正法人全体収支予算について（同意）
平成27年	8月24日	平成27年度第2次補正法人全体収支予算について（同意） 副会長の選任について（選任）
平成28年	3月23日	特定個人情報取扱規程の制定について（同意） 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について（同意） 事務局規程の一部を改正する規程について（同意） 平成27年度第3次補正法人全体収支予算について（同意） 平成28年度事業計画について（同意） 平成28年度法人全体収支予算について（同意）

イ 評議員会の開催

平成27年	5月27日	平成26年度事業報告について（議決） 平成26年度一般会計決算について（議決） 平成27年度第1次補正法人全体収支予算について（議決） 理事の選任について（議決）
-------	-------	--------------------------------------------------------------------------------------------

平成27年 8月25日 平成27年度第2次補正法人全体収支予算について（議決）
平成28年 3月28日 特定個人情報取扱規程の制定について（議決）
職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について（議決）
事務局規程の一部を改正する規程について（議決）
平成27年度第3次補正法人全体収支予算について（議決）
平成28年度事業計画について（議決）
平成28年度法人全体収支予算について（議決）

ウ 監事会の開催

平成27年5月18日 平成26年度事業報告及び一般会計決算について

②研修会の開催

ア 職員研修会の開催

平成27年5月8日、海南保健福祉センターにおいて、社会福祉協議会の活動や事業推進について、海南市社会福祉協議会職員を対象に職員研修会を実施しました。

【講義】講師：佛教大学 福祉教育開発センター

講師 金田喜弘氏

[内容] 事例検討を通じてこれからの社協を考える

平成27年6月26日、海南保健福祉センターにおいて、海南市地域福祉活動計画の進め方について、海南市社会福祉協議会職員を対象に職員研修会を実施しました。

【講義】講師：佛教大学 福祉教育開発センター

講師 金田喜弘氏

[内容] 地域福祉活動計画を円滑に進めるために

イ 役職員研修会への参加

平成28年3月4日、和歌山県勤労福祉会館プラザホープにおいて、「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への仕組みをつくる」をテーマに、平成27年度市町村社会福祉協議会役職員研修会が開催され、役員7名・職員2名が参加しました。

③社会福祉協議会会員の募集

自治会の方々の尽力をいただき、住民の皆様方、また民生委員児童委員協議会、企業、団体等の理解と協力を得て、次のとおり社会福祉協議会会費を納入していただきました。

加入世帯数は14,692世帯で、平成28年3月末日の世帯数22,480世帯に対して、加入率は65.3%でした。

(内 訳)

区 分	年額(1口)	口 数	納 入 額
一 般 会 費	400 円	13,958 口	5,583,200 円
	400 円未満	—	123,820 円
賛 助 会 費	1,000 円	308 口	308,000 円
特 別 会 費	5,000 円	32 口	160,000 円
合 計			6,175,020 円

④社会福祉功労者表彰式の開催

平成27年10月27日、海南保健福祉センターにおいて、平成27年度海南市社会福祉功労者表彰式を開催しました。

(被表彰者) 市社協会長表彰 13名

市社協会長感謝 3団体

平成27年11月11日、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛において、平成27年度和歌山県社会福祉功労者表彰式が開催されました。

(本市被表彰者) 県社協会長表彰 2名・1団体

⑤指定寄附金の配分

寄附者の指定により寄附金を交通遺児の子どもたちへ届けました。

II. 地域福祉事業

1. 共同募金配分金事業

(1) 老人福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

老人クラブ連合会 90,000円

(2) 障害児・者福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

身体障害者連盟 200,000円

障害児者父母の会連合会 160,000円

手話サークル青空 30,000円

海南たんぽぽの会 30,000円

(3) 児童・青少年福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

更生保護女性会 40,000円

紀西保護司会海南分会 30,000円

(4) 福祉育成・援助活動事業

①介護用品貸与事業

高齢者や障害者等の日常生活での負担とその家族の介護に対する負担の軽減を図るため、また自治会や学校等の車イス体験及び防災研修会等で車イスの介助等を学ぶために、車イスを貸与しました。

貸与先	貸与件数	貸与台数
個人	19件	19台
その他	11件	78台

②福祉ビデオ等貸与事業

市内に住所を有する方や市内に通勤又は通学されている方を対象に、福祉に関するDVDを貸し出しました。

2. 地域福祉活動推進事業

(1) 善意銀行運営事業

平成27年10月7日に開催された善意銀行運営委員会の審議を経て、住民の方々や企業、団体等からの善意の預託金を次の4団体に対して、1,010,120円を払い出しました。

(任意預託)

団体名	内容
社会福祉法人あおい会 もなみ	手摺付き SP ロンパー(トランポリン)
社会福祉法人和歌山県福祉事業団 作業所あかり	楽器類

社会福祉法人一峰会 あすなろ共同作業所	縦型ミキサー 1 台
養護老人ホーム海南市立白寿荘	業務用エアコン 1 台

(2) 心配ごと相談事業

ア 心配ごと相談所の開設

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、心配ごとなどに対する助言や援助を行って解決に努めると共に、他の機関において解決するのが適切な相談については斡旋による解決を図る等、住民福祉の増進に努めました。その事業内容は次のとおりです。

○相談所運営状況

相 談 場 所	海南保健福祉センター 1 階
	下津保健福祉センター 2 階
相 談 員	民生委員 15 名・行政相談委員 3 名
開 設 日 数	70 日
相談利用者数	70 名 (男 14 名・女 56 名)
面接総時間数	61 時間 50 分

○取扱件数及び処理状況

相 談 事 項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合 計	
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者児福祉	母子福祉・父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他		
件 数																					
取扱件数	10	3	6	5	18		3	2	6	3	18		1	1	8	2	4	9	23	122	
処 理 状 況	解 決	5	2	3		8			2	2	5			1	3	2		4	9	46	
	再 来					3			1		2				1		1		2	10	
	民生委員			1	1	2				1	2				1		1	2	2	13	
	他 機 関	3	1	1	4			2		1	2	8		1		2		2	1	3	31
	そ の 他	2		1		5		1		2		1			1				2	7	22

イ 心配ごと相談員研修会の開催

平成28年3月2日、貴志川生涯学習センターにおいて、相談業務に役立つ知識を身につけることを目的に、紀の川市・海南市心配ごと相談員合同研修会を開催しました。

(海南市心配ごと相談員14名、紀の川市心配ごと相談員28名参加)

講 師：岸和田市社会福祉協議会

総務・地域課 地域福祉係長 青山 織衣 氏

[内 容]『心配ごと相談所の運営について～「地域で暮らす」を支えきるために～』

(3) 広報事業

ア 広報紙の発行

社会福祉協議会の事業や活動について、住民の皆様方に幅広く知っていただくため、広報紙「かいなんし社協」を毎月発行し、自治会の方々の尽力をいただき、市内全戸に配布しました。

イ ホームページの運営

ホームページを運営し、社会福祉協議会の情報提供の充実を図りました。

(4) 世代間交流事業

子どもたちと家族のふれあいや、世代間の交流と青少年の健全育成を目的に、世代間交流事業を実施しました。

ア ふれあい福祉フェスティバルの開催

平成27年10月31日 海南市拝待体育館（参加者延べ300名）

[内 容] 屋外イベント：ふれあい移動動物園

体育館イベント：社協コーナー、工作教室、ミニSL乗車、市内作業所等の販売コーナー、
収集ボランティア・車イス体験、ふわふわガチャピン

イ 工作体験の開催

【第1回】平成27年7月25日 海南市民会館（参加者63名、うち小学生32名）

講 師：小 阪 享 氏

[内 容] 輪ゴム鉄砲

【第2回】平成28年3月30日 下津保健福祉センター（参加者45名、うち小学生32名）

講 師：小 阪 享 氏

[内 容] 輪ゴム鉄砲

ウ グラウンド・ゴルフ大会の開催

平成27年11月28日 別院グラウンドゴルフ場（参加者41名、うち小学生17名）

(5) 用具等貸与事業

ア チャイルドシート等の貸出し

住民の子育てに係る補完的役割を果たすと共に、チャイルドシート等の使用を促進し、幼児の生命又は身体に対する危害の防止を図るために、チャイルドシート等を貸し出しました。

品 名	貸 出 件 数
チャイルドシート	7件
ジュニアシート	1件

イ グラウンド・ゴルフ用具等の貸出し

住民の交流及び健康増進を図るために、グラウンド・ゴルフ用具等を貸し出しました。

品 名	貸 出 件 数
グラウンド・ゴルフ用具	34件
テ ン ト	0件

(6) 福祉教育事業

学校や身近な地域の方々等と共に取り組む福祉教育プログラムを通して、まちに住む様々な人が地域の福祉課題に気づき、ノーマライゼーションの考えに基づく福祉の心（各々の個性の違いを認め、共感し支え合える心）を育むことを目的に福祉教育事業を実施しました。

[内 容] 車イス体験、アイマスク体験、バリアフリーについての講話等

[実施先] 加茂川小学校、大東小学校、下津第一中学校、第三中学校、小中自治会、ふれあい福祉フェスティバルでの出張体験

[実施回数] 9回

(7) ボランティアセンター活動事業

ア ボランティア活動推進校の普及及び支援

○市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、学校における福祉教育や交流・体験学習による福祉活動等の推進と児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深めることを目的に、ボランティア活動推進校普及事業を実施し、この事業に取り組みされた10校（黒江小学校、内海小学校、亀川小学校、中野上小学校、下津小学校、加茂川小学校、海南中学校、亀川中学校、下津第一中学校、下津第二中学校）をボランティア活動推進校として指定すると共に、活動に対する支援を行いボランティア活動の普及に努めました。

イ ボランティア体験事業の開催

○2015「夏のボランティア体験月間」事業の一環として、ボランティア活動に関心のある小学生、中学生及び高校生が、夏休み期間を利用し、さまざまなボランティア活動を体験することを目的に、夏のボランティア体験事業を実施しました。

【夏まつりボランティア体験】

期 日：平成27年8月2日、6日、10日、19日

参加者：37名（中学生37名）

内 容：高齢者施設で開催される夏まつりの準備や高齢者の介助の手伝いを通じて、入所者や地域の人たちと交流しました。

【デイサービス体験】

期 日：平成27年8月3日、4日、7日、10日、12日

参加者：28名（中学生28名）

内 容：高齢者施設のデイサービスを利用されている高齢者の買い物の手伝いや車イスの介助、レクリエーションなどを通じて交流しました。

【お便りボランティア体験】

期 日：平成27年8月5日、11日、18日、18日

参加者：28名（中学生28名）

内 容：高齢者施設に入所されている高齢者の買い物の手伝いや車イスの介助、レクリエーションを通じて交流を図り、心のこもったお便り（絵手紙等）を作成しました。

【収集ボランティア体験】

期 日：平成27年8月6日、7日

参加者：62名（小学生1名、中学生61名）

内 容：ペットボトルキャップをリサイクルすることで、資源の再活用やゴミを無くしてCO2を減らし、地球温暖化を防ぐためなど、ボランティアと一緒にキャップを選別し、洗浄しました。

ウ ボランティアの相談、登録及び斡旋

○ボランティアの登録、活動に関する相談や斡旋等の窓口を設け、ボランティア活動の普及に努めました。

エ ボランティア情報の提供

○ボランティアグループの紹介や参加者募集等、ボランティア活動に関する情報について、社協広報紙を通じて提供及び啓発を行いました。

○平成27年10月18日、海南保健福祉センターにおいて開催された海南市民健康まつりに参画し、収集ボランティア活動についてのコーナーを設け、啓発を行いました。

オ ボランティア活動の支援及び育成

- ボランティア活動中の万一の事故に備え、安心して活動に取り組めるようにボランティア活動保険に加入しました。(加入者1, 090名)
- 地域福祉の向上とボランティア活動の拡充及び促進を図るため、海南市社会福祉協議会に登録しているボランティアグループを対象に、申請のあった15グループに対して、ボランティア活動支援事業助成金を交付しました。
- 給食ボランティアわかば会及び大野地区配食ボランティアによる食事サービス活動に対して、材料費等の支援を行いました。

実施日

*給食ボランティアわかば会 (ボランティア延べ260名、延べ1, 287食分)

平成27年4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、10月1日、11月1日、12月1日

平成28年2月1日、3月1日

*大野地区配食ボランティア (ボランティア延べ132名、延べ440食分)

平成27年4月15日、5月15日、6月15日、7月15日、9月15日、10月15日、

11月15日、12月15日

平成28年1月15日、2月15日、3月15日

カ 災害ボランティア活動の促進及び基盤強化

各会場において、災害時における私たちの関わり方や平常時からのつながりや取り組みの大切さ、また災害ボランティアセンターの機能や役割を学んでいただくことを目的に、2回に渡り災害ボランティア講座を開催しました。

○平成27年9月15日、海南市民会館

講師：和歌山県社会福祉協議会・災害ボランティアセンター

主査 南 出 考 氏

[内 容] 災害にも強い「つながり」づくりに向けて（参加者30名）

○平成28年1月20日、海南保健福祉センター

講 師：和歌山県社会福祉協議会・災害ボランティアセンター

主査 南 出 考 氏

[内 容] 災害にも強い「つながり」づくりに向けて（参加者38名）

○平成28年3月6日、下津保健福祉センターにおいて、大規模災害時に各地から駆けつける災害ボランティアを受け入れ、支援活動を円滑に進めるための拠点となる災害ボランティアセンターの役割や機能などについての講話の後、参加者が運営スタッフ役と災害ボランティア役に分かれて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。

【講話】講 師：和歌山県社会福祉協議会・災害ボランティアセンター

主査 南 出 考 氏

[内 容] 災害ボランティアセンターの役割や機能、センター各班や災害ボランティアの役割などについて

【訓練】運営スタッフ役24名、災害ボランティア役41名

[内 容] 災害ボランティアセンター設置運営訓練

○災害発生時に自発的な意思でボランティア活動をする方が、災害現場において迅速かつ効果的に救援活動を行えるよう、また平常時から災害ボランティア同士の連携、協働を支援するための事前登録を行いました。

（登録者30名）

キ ボランティア連絡協議会との連携

○平成27年11月23日、海南保健福祉センターにおいて、海南ボランティア連絡協議会との共催により、市内の障害者施設及び団体の障害児者とボランティアが、交流会を通じて親睦を深め、相互の連帯感の向上

とボランティア活動の振興を図ることを目的に、ふれあい交流会を開催しました。(障害児者41名、保護者等24名、ボランティア44名参加)

[内 容] 災害に関する〇×ゲーム、亀川人形劇サークルはちの巣による人形劇「大きなカブ」、海南たんぼぼの会による和太鼓演奏、ゆうの会による紙芝居「かちかちやま」、参加者全員での合唱、炭坑節

○平成28年2月20日、下津保健福祉センターにおいて、ボランティア活動の体験を通じて、より多くの方々がボランティアに参加するきっかけづくりにしていただくことを目的に、下津町ボランティア連絡協議会等が中心となり「きて みて 体験 ボランティアの集い」を開催しました。

[内 容] 発表コーナー：紙芝居の読み聞かせ、手品、バンド演奏、太極拳、日本舞踊等
体験コーナー：絵手紙、手芸、ペットボトルキャップ選別、さをり織り、ハイゼックス
販売コーナー：炊き込みご飯、豚汁、焼きそば、フランクフルト、飲み物、焼き菓子、
バザー

○海南ボランティア連絡協議会の運営支援

海南ボランティア連絡協議会総会の開催

海南ボランティア連絡協議会理事会の開催（2回）

○下津町ボランティア連絡協議会等の運営支援

下津町ボランティア連絡協議会会議の開催（2回）

ボランティアの集い実行委員会の開催（4回）

（8）避難行動要支援者名簿登録事業

ア 避難行動要支援者名簿登録事業への参画

海南市に登録された避難行動要支援者の個別台帳（支え合いカード）作成のため、海南市と協働して訪問調

査を行いました。(41自治会、211名)

(9) ふれあい・いきいきサロン支援事業

ア ふれあい・いきいきサロンの運営支援、設置支援

身近な地域において、高齢者や障害のある方、子育て中の親などの当事者とボランティアとが協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場を開設することで、地域住民の孤立感の解消、地域の見守り並びに閉じこもり予防、介護予防、健康維持・向上に取り組むふれあい・いきいきサロンを推進し、地域における福祉コミュニティの形成に資することを目的に、12か所のサロンに対し運営支援のほか、活動費・設立費用を助成しました。

(10) 民生委員互助共励事業

民生委員児童委員の互助と共励を基盤として、活動の充実振興を図るため、民生委員互助共励事業（県社会福祉協議会事業）を実施しました。その給付内容は次のとおりです。

種 別	件 数	金 額	内 訳
一般傷病給付金	5件	50,000円	@10,000×5件
公務傷害	1件	50,000円	@50,000×1件
合 計	6件	100,000円	

(11) 担い手発掘・育成事業

ボランティア活動に関心や意欲のある方が、ボランティアを始めるきっかけづくりとなるよう、ボランティア養

成講座を2回開催しました。

【第1回】平成27年7月11日 海南保健福祉センター（参加者32名）

講師：どこたけ和歌山

石橋哲郎氏

[内容] 万華鏡作り

【第2回】平成28年3月15日 海南保健福祉センター（参加者24名）

講師：橋本市傾聴ボランティア青い鳥

青木久美子氏

[内容] 傾聴ボランティア講座

地域福祉活動を担っていただく人材を発掘・育成するため、各種ボランティア活動体験を実施しました。

【ペットボトルキャップ選別・洗浄】

期日：平成27年10月11日、11月7日、12月5日・6日・26日

参加者：43名（うち中学生延べ26名）

【クリーンアップ運動】

場所：JR海南駅前

期日：平成27年9月10日

参加者：22名

（12）家計相談支援事業

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、市の委託を受けて、生活困窮者を対象に家計表の作成と分析・評価を行い、家計の改善を図り、また家計管理能力を高めるための支援を行う家計相談支援事業を実施しました。

利用者18名（うち、継続利用中6名）

3. 福祉サービス利用支援事業

(1) 福祉サービス利用援助事業

県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などに対して、福祉サービス利用援助、日常生活上の手続き援助、日常的金銭管理、書類等預かりを行う福祉サービス利用援助事業を実施しました。

	高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計
前年度末件数	17件	4件	22件	3件	46件
新規契約件数	5件	2件	4件	1件	12件
小 計	22件	6件	26件	4件	58件
契約終了件数	9件	0件	2件	0件	11件
現利用者数	13名	6名	24名	4名	47名

4. 資金貸付事業

(1) 資金貸付事業

①生活資金貸付事業

社会福祉対策の一環として、災害や疾病その他の事情により生活に困窮をきたした方に、生活資金を貸付け、その経済的自立の助長と生活意欲の向上を図りました。(貸付件数19件、貸付額1,073,873円)

②生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会の委託を受けて、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対し、安定した生活を営むための援助施策として、また世帯の生計中心者の失業等により生計の維持が困難となった世帯に対し、次のとおり生活福祉資金貸付事業を実施しました。

種 別	件 数	金 額	内 訳
福 祉 資 金 福 祉 費	3件	669,963円	@238,243×1件 @307,000×1件 @124,720×1件
教 育 支 援 資 金 教 育 支 援 費	2件	4,735,800円	@2,115,000×1 @2,620,800×1件
教 育 支 援 資 金 就 学 支 度 費	1件	279,263円	@279,263×1件
合 計	6件	5,685,026円	

③金銭教室事業の開催

生活福祉資金の借入申込者の生計状況から、金銭管理能力の乏しさゆえ生活が困窮する傾向が顕著であることから、子どもの頃から金銭教育が必要であると考え、小学生とその親を対象に金銭教室を開催しました。

平成27年8月1日 海南市民会館（参加者25名）

[内 容] おこづかいの上手な使い方、子どものうちに知っておきたいお金の話

Ⅲ. 在宅介護事業

1. 介護保険事業

(1) 介護保険訪問介護事業

ア 介護保険訪問介護事業

要介護認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供する介護保険訪問介護事業を実施しました。

介護保険訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	62	59	57	59	57	58	59	56	58	50	54	54	683

サービス提供時間

(単位 時間)

生活援助	806.58	799.57	828.82	798.89	727.32	784.06	814.23	742.40	768.82	583.41	605.99	696.07	8,956.16
身体介護	260.58	246.16	232.08	240.41	228.41	210.16	238.25	229.83	238.91	197.16	213.75	207.00	2,742.70
合計	1,067.16	1,045.73	1,060.90	1,039.30	955.73	994.22	1,052.48	972.23	1,007.73	780.57	819.74	903.07	11,698.86

イ 介護予防訪問介護事業

要支援認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供する介護予防訪問介護事業を実施しました。

介護予防訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	36	38	38	39	37	36	36	37	35	36	35	35	438

利用者数	14	15	15	17	17	17	17	17	17	15	13	14	188
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2. 障害福祉事業

(1) 障害福祉サービス居宅介護事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して家事援助や身体介護のサービスを提供する障害福祉サービス居宅介護事業を実施しました。

障害福祉サービス居宅介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	19	20	21	21	21	21	21	22	22	21	22	21	252

サービス提供時間

(単位 時間)

家事援助	206.00	206.50	221.00	226.50	209.00	196.50	229.00	213.50	211.50	204.00	220.50	237.50	2,581.50
身体介護	82.50	72.00	85.00	77.50	71.50	62.50	78.00	74.50	74.00	73.50	77.00	76.00	904.00
合計	288.50	278.50	306.00	304.00	280.50	259.00	307.00	288.00	285.50	277.50	297.50	313.50	3,485.50

(2) 障害福祉サービス同行援護事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して同行援護のサービスを提供する障害福祉サービス同行援護事業を実施しました。

障害福祉サービス同行援護事業の利用者は及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	3	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3	41

サービス提供時間

(単位 時間)

身体介護無	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
身体介護有	9.50	12.50	10.50	26.50	18.00	15.50	23.50	18.00	16.50	25.00	16.50	19.50	211.50
合 計	9.50	12.50	10.50	26.50	18.00	15.50	23.50	18.00	16.50	25.00	16.50	19.50	211.50

(3) 障害福祉サービス移動支援事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して移動支援のサービスを提供する障害福祉サービス移動支援事業を実施しました。

障害福祉サービス移動支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	3	5	3	3	3	4	3	3	3	3	3	39

サービス提供時間

(単位 時間)

身体介護無	22.00	20.50	26.50	23.00	20.00	20.50	22.00	23.00	22.00	20.50	23.50	21.50	265.00
身体介護有	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
合 計	22.00	20.50	27.00	23.00	20.00	20.50	24.50	23.00	22.00	20.50	23.50	21.50	268.00

IV. 在宅福祉事業

1. 生きがい活動支援通所事業

(1) 生きがい活動支援通所事業

市の委託を受けて、高齢者や障害児者を対象に、海南保健福祉センター及び下津保健福祉センターにおいて、利用

者相互のふれあいと交流を深め、心身の健康保持及び増進を図ることを目的に、入浴、娯楽等のサービスを提供しました。利用者の状況は次のとおりです。

海南保健福祉センター（開所日数：240日）

	男	女	合 計
延 利 用 者 数	4,089名	4,168名	8,257名
うち延一般浴室利用者数	2,511名	2,713名	5,224名
うち延特殊浴室利用者数	0名	0名	0名
うち教養娯楽室のみ利用者数	1,578名	1,455名	3,033名

下津保健福祉センター（開所日数：201日）

	男	女	合 計
延利用者数	1,659名	2,953名	4,612名
うち地区単位	738名	1,570名	2,308名
うちフリー	921名	1,073名	1,994名
うちひとり暮らし	0名	310名	310名

V. その他の関連事業

(1) 共同募金運動

自治会の方々、民生委員児童委員、ボランティア等の尽力をいただき、共同募金運動（10月1日～12月31日）を実施したところ、住民の皆様方から寄せられた募金額は次のとおりです。

（目標額及び実績額）

目 標 額	実 績 額	達 成 率

8, 824, 000円	7, 978, 085円	90. 4%
--------------	--------------	--------

(実績額内訳)

戸別募金	街頭募金	職域募金	イベント募金	個人募金	その他	合計
7,102,961円	174,998円	681,840円	1,065円	4,000円	13,221円	7,978,085円

(2) 日赤社資募集

自治会や奉仕団の方々の尽力をいただき、日赤社資募集（5月1日～5月31日）を実施したところ、住民の皆様方から寄せられた金額は次のとおりです。

(目標額及び実績額)

目標額	実績額	達成率
7, 609, 000円	7, 385, 589円	97. 0%